

緑は人を育み、住まいの価値も育む



家は古くなっていくもの、
家族と自然は成長するもの

来年初創業50周年を迎える株式会社富士開発。横浜市に本社を置き、首都圏と九州を中心に分譲住宅やマンション事業、不動産取引を扱う企業である。復帰後、日本の高度成長経路の中、沖縄県民への住宅供給が急がれる時代に、北谷町の砂辺地区や沖縄市泡瀬地区の埋立地住宅事業を率先して行い、県内だけでも29棟のマンション販売実績を誇っている、まさしく優良企業である。

しかし、ここまでに至る企業実績の裏側には、数々の苦難もあったという。復帰当時は、住宅ローン保証や損害保険なども認可が下りなかった時代に、代表取締役社長の小尾洗氏が、保証全てを個人で請負うまでの強い信念の元、県民への住宅販売を手がけてきたのである。いつしか分譲地区は富士開発村と呼ばれるようになり、バスの停留所の名前まで「富士開発前」とつくまでになった。本社ではなく、分譲地のバス停に社名がつけられることは、珍しいことである。まさしく、地元からの愛着が伺えるエピソードである。



歩道からエントランスまでヤシの木のアプローチが続くFステージ西崎



沖縄市泡瀬地区の住宅街入口の目印となっている「富士開発前」のバス停



Fステージ奥武山公園の敷地内に、奥に続く護国神社の参道を作り上げた

富士開発の手がける事業には、必ず地域に密着した社会貢献の実績が残されている。それはなぜか。「戸建などどんなに立派な家でも、時の流れとともに老朽化しますが、資産価値の高い住宅地の街並みを拝見すると、古い家でも決してそのように感じない、大きな存在感がある。そこに住まい造りのヒントがあるのです」と、話す取締役兼事業部長の小尾一氏。たしかに、田園調布などを見て、決して近代的な建築物ばかりではない。「家はいずれ古くなっていくもの。しかし、花や緑は自然に成長するものです。多少家が古くても



環境共存型企业
talk.3

「住民への配慮」 が嬉しい。

株式会社富士開発
本社：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町143-4
TEL 045-881-8331 FAX 045-864-1731

〈経営理念〉
未来を見つめる 新たな住環境の提案



徹底した現場主義を貫き、忙しく全国を走りまわる事業部長小尾一氏

草木が豊かに育つと、住宅の見栄えも、価値も上がるのです」と話してくれた。富士開発の手がけた分譲地の敷地内には、住民だけでなく地域の人が利用できる公開された広場や歩道が設けられていたり、亜熱帯の植物がアプローチを取り囲むように、植栽されているのである。

一年中咲き誇る鮮やかな花のアプローチ、マンション敷地前のバス停に設けられた、洒落た遊歩道と憩いの空間。住む人、またそこに関わる誰しもに配慮された、環境共存型企業をめざしているのである。『家への愛情』は住人の心のゆとりにつながっている。

さあ「豊崎タウン」を始めよう 悠々自適のセカンドライフ“F”ステージ

那覇市に隣接し、那覇空港より車で10分の立地に開発された豊崎タウン。今、県内で人気のこのエリアに、初めての分譲マンション“Fステージ豊崎”が誕生する



下左:平成21年にオープン予定のサンセットビュービーチ。鮮やかな野鳥たちを観察できる 下中:道路向かいにある「にじ公園」休日には家族連れで賑わう 下右:整った遊歩道

>> Fステージマンションシリーズの魅力



和モダンを基調とした和室は、床の間を設け、格調高い客間にも早変わり



シンプルで明るい遮光を取り込んだ洋室は、様々な暮らしの夢が実現できる



清潔で、爽快感溢れる白を基調としたゆったりと落ち着きある主寝室



リビング・ダイニングは、明るさと開放感溢れるワイドサッシを全室採用



幼児向け遊具を置いているキッズルームは、子育て中の家族を応援する



1階に設けられたシアタールーム。プラズマTVでの映画鑑賞が楽しめる



受験生や静かに読書をしたいた方にもう一つの部屋としてスタディールームを用意



住民同士のサークル活動や集会などコミュニティが広がる多目的ルーム

※掲載した写真はFステージ西崎東のモデルルームを撮影したもので、家具調度品は価格に含まれておりません

49年の豊富な経験と実績は、
地元の厚い信頼へと結びつく

今年、創業49年目を迎える株式会社富士開発。実は、沖縄と復帰直後より深い関わりがある企業であることはご存知だろうか。

復帰直後の昭和47年に、県内に沖縄支店を構え、県と共に、県内の不動産会社の水準を、本土の不動産業界と足並みを揃えるべく、開発の先駆者として沖縄の不動産業界を引っ張ってきた企業なのである。「沖縄県民のためになる、豊かな自然環境に恵まれた、幸せな街づくり」を提唱し、当時、県内ではまだ珍しい北谷町砂辺の埋立地事業に加わり、大型宅地分譲を皮切りに、沖縄の都市づくりや集合住宅の先駆けをしてきた。代表取締役社長の小尾洗氏こそが、沖縄県の功労者である。銀行と住宅ローンシステムを構築し、県内初で執り行うまでの苦労や住宅ローンの保証問題などをクリアしながら、地元建設業と取り組んできた努力は大抵のものではない。「自分が住みたい家造りが一番。住む人の気持ちを第一に考え、そのためには最大限の努力を惜しみません。地域住民の協力があつたからこそ、ここまで来れたんです」と取締役小尾氏は語る。



空港 → 豊崎
約5.5km

〈Fステージ豊崎間取りプランの一例〉

C type 4LDK
角部屋タイプは通風採光に優れたプラン。2面バルコニーで開放感を演出

■専有面積 **89.72 m²**
■バルコニー面積 25.05 m²

B type 3LDK
モデルルームになっているタイプ。洋室1から洗面室まで直接行ける導線

■専有面積 **76.73 m²**
■バルコニー面積 14.31 m²

F type 3LDK+S
独立型の角部屋タイプ。更にも書斎も付いた贅沢な配置が魅力

■専有面積 **81.77 m²**
■バルコニー面積 22.90 m²



〔仮称〕ホテルグランビュー 沖縄アーバンリゾート

人工温泉付
屋外プール付
スパ・エステ付

Fステージ豊崎パークフロント & Fステージ豊崎リバーフロントをご購入されたご家族へ、特典をご用意しております。

安心の住まい選びの基準

住宅性能評価。安心な住まいを実現！

設計 性能評価
建設 性能評価

平成21年10月1日から施行される新しい法律

- 安心の技術基準と信頼の現場審査
- 10年間の長期保証
- さらに安心の短期保証
- 万一の業者の倒産にもしっかり対応

住宅瑕疵担保履行法は平成21年10月1日以降の新築住宅の引き渡しから「住宅性能保証制度」が義務づけられます。「Fステージ豊崎パークフロント」でも時代に先駆けて、いち早く「住宅性能保証制度」を導入しております。

【物件概要】●名称/Fステージ豊崎パークフロント●所在地/沖縄県豊見城市豊崎1-1178●交通/豊崎住宅前バス停より徒歩約8分●用途地域/第1種住居地域豊崎地区集合住宅地区(2)●地目/雑種地・引渡時(宅地)●建ぺい率/60%●容積率/300%●総戸数/88戸●販売戸数/88戸●敷地面積/3917.49 m²●建築面積/1051.06 m²●建築延床面積/8620.35 m²●容積不算入部分の面積/1062.05 m²を含む●建物構造/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造●住居専有面積/76.73 m²(44戸)~89.72 m²(33戸)●バルコニー面積/14.31 m²(44戸)~25.05 m²(33戸)●アールコート面積/2.10 m²(44戸)●間取り/3LDK(44戸)、3LDK+S(11戸)、4LDK(33戸)●分譲後の権利形態/敷地・各戸専有面積割合による所有権の共有、建物：専有部分は区分所有権、共用部分は専有面積割合による所有権の共有、●建築確認番号/第119号確認建築沖縄県000296号(平成19年6月19日付) 計画変更による建築確認済証番号/第119号確認建築沖縄県000182号(平成20年3月6日付)●管理形態/入居後、区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に委託して頂きます。●販売価格(税込)/1,680万円~2,950万円(予定)●管理費(月額)/5,880円(44戸)6,610円(33戸)●修繕積立金(月額)/5,610円(44戸)~6,550円(33戸)●修繕積立金(引渡時一括)/224,000円(44戸)~261,900円(33戸)●バイク置場使用料(月額)/300円(32台)●駐車場使用料(月額)屋外平面4,000円(55台)~屋外縦列9,000円(15セット)●建物竣工予定/平成21年5月上旬(予定)●入居予定(引渡)/平成21年5月下旬(予定)●管理会社(受託予定)/住友不動産建物サービス株式会社●設計・監理/有限会社フィールド設計●施工/株式会社太名嘉組●設計図書閲覧場所/「Fステージ豊崎」販売センター●土地売主/沖縄県土地開発公社・建物売主/株式会社富士開発「首都圏不動産公正取引協議会加盟」●広告有効期限/平成20年8月31日

76 m²超が1600万円台より
89 m²超が2200万円台

Fステージ豊崎の分譲予定は、3LDK 76 m²台と4LDK 89 m²台。充実したマンションライフを送るには、十分な広さである。それぞれ多様なライフスタイルに対応する幅広い住空間を基本とし、いずれのタイプも高い収納力と、高品質の設備・仕様を備えているのが特徴である。どの住居も永住地に相応しい、大型の居住空間としてミニマム環境を整えているため、共有部分のクオリティの充実さは、目を見張るものがある。自宅では落ち着いて仕事や勉強ができないという方のためのスタディールームや入居者同士のネットワークの場所として、サークル活

動や会合が開ける多目的ルーム。さらに、プラズマテレビにより映画鑑賞が楽しめるシアタールーム・キッズルームなど、戸建てでは味わえない、マンションライフの楽しさが広がる、Fステージ豊崎マンションシリーズである。

〔仮称〕ホテルグランビュー 沖縄アーバンリゾートが豊崎に誕生

客室から見えるサンセットビュー。夜は、滑走路の誘導灯のサインがまっすぐと続く、幻想的な世界を眺望することができる場所。今年、「〔仮称〕ホテルグランビュー 沖縄アーバンリゾート」が完成する。シティリゾートをコンセプトにしたホテルには、人工温泉、屋外プール、スパ&エステ、レストランと、充実のクオリティサービスが揃っている。



Fステージ豊崎パークフロントは、地上12階、最上階には吹きぬけを設け、魅力あるプランが充実。西向きは慶良間諸島が一望

全戸88戸×2のツインマンションが、豊崎タウンに誕生する

今、那覇市新都心に続く、新しい街として沖縄県土地開発公社が手がける「豊崎タウン」が注目されている。ゾーニングされた住宅地区や商業地区は、まさに新しい都市機能として生まれようとしている。この春、豊崎タウン初の沖縄県土地開発公社との共同事業として、「Fステージ豊崎パークフロント」の販売が開始される。県内に建設するマンションのほとんどが抽選になるほどの、人気のFステージマンションであるが、人気の秘密には以下のこと挙げられる。

- 立地条件が整っていること
- 購入しやすい価格帯であること
- 安心・安全な住宅性能保証制度を導入していること
- 信頼と実績のある売主であること

この条件をすべて満たしているマンションこそが、本物の資産価値の高い、住みやすいポイントである。また、閑静な住宅地エリアと道を挟んで、今後発展を続ける商業地区との隣接こそが、資産価値の大きなアドバンテージになることだろう。ビーチに面した商業地区には、リゾートホテルが建並び、観光客のニーズに合わせた、様々なブランド企業が集約する地区になる。まさしく企業力も、住宅街の資産価値を上げるのである。